

平成22年8月2日

本学関係教職員各位
各大学学生支援／相談担当教職員各位
近隣地域の学校教育関係者各位

第8回学生支援力向上連続セミナーのご案内

＝『発達障害の理解と教育的支援』＝

主催：東京工業大学学生支援G P (Good Practice)

同 保健管理センター

後援： 同 学生支援センター

いま、教育の現場では、生徒・学生の多彩なあり様をいかに理解し、その個別ニーズに応えていくかが焦点になっています。今回のセミナーでは、特に近年話題になることが多い「発達障害」を取り上げたいと思います。“認知の偏りや注意欠損、対人関係の不得手さ”などに特徴を持つ生徒・学生の中に、時折この障害の可能性がうかがえる場合があるのですが、一方で周囲の適切な理解と支援があれば、大きな業績をあげる方もたくさんおられ、誤解や先入観によってせっかくの能力を活かせない事態を招かないようにしたいものです。

さまざまな個性の1つとして、“多様性を活かした教育／学生支援”を考えるまたとない機会になるのではと期待しております。また大学以前の教育システムとの接続や大学卒業後の就労支援まで連続線上で捉えた意見交換ができればと存じます。是非、ご参集下さいますようご案内いたします。

記

日 時：平成22年9月9日（木）15時～17時

場 所：大岡山キャンパス西8号館10階 情報理工学研究科大会議室

プログラム：講演と意見交換

(1) 報告： 「個性としての発達障害 ～個別面談と学生支援GPの循環から～」

* 東京工業大学保健管理センター教授：齋藤憲司

(2) 教育講演：「発達障害の理解と教育的支援」

* あつぎ心療クリニック／明治大学学生相談室：福田真也先生

(内容) 精神科医として、そして学生相談室においても、大学生のこころの問題に長年かわってこられたご経験から、アスペルガー症候群をはじめとする発達障害の特性を理解するポイントと、生活・学習から就労に至る諸課題への対処と支援の実際を分かりやすく解説していただきます。(最近著「Q & A 大学生のアスペルガー症候群～理解と支援を進めるためのガイドブック～」(明石書房)

(3) 意見交換 ～理工系学生の様子や具体的な支援を共有／情報交換～

「セミナー」へご出席いただける方は、メールまたはFAXにて、**9月3日（金）**までに、
学生支援G P室宛（E-mail：siengp@jim.titech.ac.jp FAX：03-5734-7629）にご回答下さい。

問い合わせ先：学生支援G P室：03-5734-7629

（付記）

なお、本研修会は*学生支援G Pにおける啓発活動の一環として開催するもので、今回は内容に鑑み、保健管理センターとの共催となります。また幅広く意見交換を行うために、本学の教職員のみならず、各大学の学生支援関係者及び近隣地区の学校教育関係者の方々にもインフォメーション致します。

(*本学の学生支援G Pは「3相の（ことづくり）で社会へ架橋する一問題解決型支援と成長促進型支援の循環」というプログラムで、文部科学省より「新たな社会的ニーズに対応した学生生活プログラム」として優れた取組であると選定され、平成19年度から活動を続けています。G PはGood Practiceの略です。)

////////////////////////////////////
<<9月9日：第8回学生支援力向上連続セミナー／出席連絡表>>
= 『発達障害の理解と教育的支援』 =

学生支援GP室 宛 <FAX：03-5734-7629>

ご所属 _____

お名前 _____

第8回セミナーに出席いたします。

*当日話題にしたいテーマやトピックスがありましたら、下にご自由にお書き下さい。
できる限り、取り上げさせていただきます。

////////////////////////////////////